

# プラセントレックス(ヒトプラセンタ配合ジェル)使用ガイド

## 適応症

プラセントレックス(Placentrex)は外用ジェルタイプのヒトプラセンタで、美容目的でどなたでも使用することができます。

プラセンタ注射の場合は、適応症として更年期障害・乳汁分泌不全・慢性肝疾患による肝機能障害が挙げられます。

以下がプラセントレックスの主な作用で、驚くほど多くの美肌効果を発揮します。

- ・肌の艶・ハリ・弾力アップ
- ・化粧ノリアップ
- ・毛穴を目立たなくする
- ・しわやたるみの改善(アンチエイジング)
- ・シミやくすみ、色素沈着の改善(美白)
- ・ニキビの改善
- ・やけど跡、傷跡の改善(組織再生)
- ・敏感肌やアトピー性皮膚炎の改善

## 用法と用量

プラセントレックスは1日2~3回(朝晩など)、気になる部位に適量を塗布します。プラセントレックスはジェルタイプなので少量で十分に伸びます。

塗布する部位は使用する前によく洗い、水気をよく拭いて清潔な状態にしておいてください。朝の洗顔後やお風呂上がりタイミング的に最適です。顔以外にも、首元や胸元、手足など全身に使用することができます。

適量を指にとって肌に直接塗布していきませんが、円を描くように軽くマッサージしながらジェルを薄く塗り広げていくとより効果的でお勧めです。強く肌を擦るとダメージの原因になるので優しくマッサージしてください。塗布後は手に付着したジェルをよく洗い流し、残らないようにしてください。塗布した部位はそのまま放置して問題ありません。

普段のスキンケアにプラセントレックスを追加する場合、特に決まりはありませんが **洗顔→化粧水→プラセントレックス→乳液** などの保湿ケアという順番を推奨します。特に、プラセントレックスを使用した後に少し肌のつっぱり感が残る方はジェルが乾いた後にしっかり保湿してください。

肌が乾燥していると肌荒れや老化など肌トラブルが起きやすくなるので、丁寧に徹底した保湿ケアを毎日心がけましょ

う。保湿クリームで肌に蓋をすることで水分や美容成分を閉じ込め奥まで浸透させる効果があるからです。

プラセントレックスは美容液の代わり、というよりむしろ美容液を超える美肌効果を持つため他の美容液は特別必要ありませんが、使用する場合はプラセントレックスを塗布して乾いた後に美容液を塗布する方法をお勧めします。ジェルタイプのため割とすぐに乾きます。

プラセントレックスをはじめとするプラセンタ製剤は、胎盤を連想するためか一般的に女性に使用されるイメージが強いのですが、もちろん男性でもご使用いただけます。

男性もプラセントレックスを使用することで劇的なアンチエイジング・美肌効果が期待できます。ちなみに、プラセンタ内服の場合は精力増進効果と毛髪の脱毛予防効果も期待できると言われています。

## 使用にあたっての注意点

●プラセントレックスは粘膜部位、傷のある部位(傷痕は問題ありません。傷痕に塗布すると薄くなる・消える改善作用があります。)、皮膚が薄くデリケートな目の周辺部位には使用しないでください。もし、プラセントレックスが目や口に入ってしまった場合はすぐに水で洗い流してください。

●プラセントレックスを塗りすぎないように注意してください。大量に塗布すると、効果が高まるのではなく逆に肌荒れなど副作用が起きる可能性が高まります。

●プラセントレックスの使用を始めてから数日経過すると、人によっては一時的に肌の症状や状態が悪くなる場合があります。これは治療の過程で一時的に現れる「好転反応」です。好転反応の時期を終えると、肌の状態は改善してプラセントレックス使用前よりもどんどん良くなっていきます。2週間以上経過しても改善しない場合は好転反応ではなく肌に合っていない&副作用の可能性が高いので使用を中止してください。

●プラセンタ注射、サプリメント、化粧品など何らかのプラセンタ製剤でアレルギーが起きたことがある方はプラセントレックスを使用できません。また、小児や未成年の方は効果や安全性が確立されていないため、プラセントレックスの使用を控えてください。

●肌が弱い方(敏感肌)、アトピー性皮膚炎、アレルギー体質の方はプラセントレックスの使用に慎重な注意が必要で

す。パッチテスト(腕や太ももなどに対象を塗布して48時間放置し異常の有無を確認すること)をして異常が起きないことを確認してから、少量から開始して様子を見てください。このパッチテストで何らかの異常があった場合はプラセントレックスの使用を控えてください。

●妊娠の可能性・妊娠中・授乳中の方はリスク回避上プラセントレックスの使用は控えたほうが良いと言われております。使用希望の場合は必ず医師に相談してください。

●個人差がありますが、プラセントレックスの効果が目に見えるほど発揮されるまでに少なくとも1~2週間はかかります。しばらく継続して正しい用法でプラセントレックスを使用し、長い目で様子を見ましょう。

●プラセントレックスを開封後は1~2ヶ月目安に早めに使い切ってください。基本的には常温保存で問題ありませんが、ジェルの変色やテクスチャーの変化が起きた場合は使用せずに廃棄してください。

●プラセントレックスは安全性の高い外用ジェルなので全身的な副作用はほとんどありませんが、肌に合う合わないの個人差があります。プラセントレックスを使用後に痒み、かぶれ、ただれ、炎症、発疹など何らかの皮膚の異常が現れた場合は使用を中止してすぐ皮膚科を受診してください。また、重篤なアレルギー反応のアナフィラキシーショックに念のため注意してください。呼吸困難、蕁麻疹、唇や喉の腫れなど明らかな身体の異常をきたした際はすぐ受診してください。

## 主な併用禁忌薬

プラセントレックスと併用してはいけない薬や併用に注意が必要な薬は特にありませんが、何らかの疾患で服薬治療をしていたり外用剤を定期的に使用している方は使用を開始する前に必ず医師か薬剤師に相談してください。また何らかの皮膚疾患がある場合、異常がある部位はプラセントレックスの使用を避けてください。

## 効果を最大化するために

効果を最大限発揮させたいのであれば、毎日スキンケアの一環として継続してプラセントレックスを使用しましょう。継続的に使用することで、プラセンタの細胞再生力により化粧品でのスキンケアを上回る美肌効果があると言われております。

その他、美肌やアンチエイジングのためにはプラセントレックスの他に普段の生活習慣も意識するよう心がけてください。

以下に例を簡単にまとめました。

●プラセントレックスだけでなく、普段のスキンケアも丁寧に行う(特に保湿ケア):保湿はスキンケアの基本で一番大切なケアです。肌が乾燥していると肌の防御力や新陳代謝が悪くなり肌荒れや老化の原因となります。

●良質な睡眠を十分にとる:睡眠不足や夜更かしは肌荒れや老化の原因となります。

●バランスのよい食事を摂る:ビタミンなど必要な栄養素を十分に摂取して、肌に栄養を与えましょう。サプリメントで補うのもお勧めです。

●ストレスを溜めない:ストレスや疲労が蓄積すると、ホルモンバランスが崩れ肌荒れを起こしたり肌がくすみやすくなります。現代社会でストレスフリーの生活は難しいですが、発散法やリラックスする習慣を身に付けましょう。

●湯船にゆっくり浸かる:普段シャワーのみで済ますという方は、湯船にしっかり浸かる習慣を心がけてみてください。丁寧なお風呂は血流を良くする・基礎代謝を上げる・老廃物のデトックス・ストレス解消・冷え性改善・ホルモンバランスを整えるなど素晴らしいメリットがたくさんあり、更に汗をかくことで汗に含まれた抗菌成分が肌トラブルを防ぎます。

## その他

プラセンタとは人間や馬などの哺乳類の胎盤から有効成分を抽出した胎盤エキスであり、プラセントレックスは一番高価なヒトプラセンタ(人間由来のプラセンタ)を含有しています。

病原体やウイルスの感染の有無など不安に思う方もいらっしゃるかと思いますが、プラセントレックスのように世界で公に流通しているプラセンタ製剤は厳重な製造基準や管理下において有効成分以外は完全に滅菌除去されている高品質なプラセンタです。

感染症などの報告は過去になく、安全性は非常に高いです。安心して使用してください。

日本ではプラセンタの注射をした方は感染症のリスク回避という観点で献血をすることができなくなりますが、プラセンタのサプリメント・ドリンク・化粧品など注射以外のものについては献血できないなどということは特にありません。